

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無
教育学部	准教授	曾根 裕二		
<b>I 教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)				
大学における授業評価			主要項目において5点満点中、4.5点以上の評価を受けている。	
ICT等を活用した授業、実習			授業毎にスライド資料を作成し、視覚的に理解を促す指導を行った。また、実習の記録をWeb上で登録する方法に変え、記録の共有化を図った。	
学外と連携した実習、ボランティア活動の促進			障がい者のスポーツ活動について、地域のクラブチームや大会主催団体と連携し、学生の参加を促すとともに深い学びにつながるような機会を設けた。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
「イラスト アダプテッド・スポーツ概論」		平成29年4月	アダプテッド・スポーツの入門的な内容を網羅した教科書的な意味合いを持つ書籍の編著者を担った。	
インターンシップC 実習ノート		平成29年度から	特別支援学校へのインターンシップ実習を行うに当たって、学生の学びを記録できるノートを作成した。	
アダプテッド・スポーツ実習 実習ノート		平成29年度から	アダプテッド・スポーツ実習としての指導実践を記録するためのノートを作成した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
大阪体育大学 教員免許更新講習会 講師		平成26年から	教員免許更新講習会において「アダプテッド・スポーツ」「特別支援教育における体育の授業づくり」の講座を担当している。	
国立特別支援教育総合研究所 専門研修 講師		平成26年から	特別支援教育総合研究所の長期専門研修(肢体不自由)に参加する現職の教員を対象に「肢体不自由児・者スポーツの現状と課題」の講師を務めている。	
大阪府立和泉支援学校 地域交流研修会		平成29年	和泉支援学校主催の地域交流研修会において「共生社会第一歩～スポーツを通じた障がい理解～」の実技、講義の講師を担当した。	
高石市教育委員会 授業Skill Up研修 講師		平成30年7月	高石市の心のバリアフリー事業の一環として、教員を対象とした研修会にて「共生社会の実現につながる アダプテッド・スポーツ～ボッチャの体験を通して～」というテーマで実技講習、講演を行った。	
教育学部 出前講座(太子町立山田小学校)		平成30年7月	教育学部の出前講座として、太子町立山田小学校の教員を対象とした研修会を行った。「アダプテッド・スポーツを通じた障がい理解学習」というテーマで実技と、講義を行った。	
日本肢体不自由教育研究大会 講師		平成30年8月、令和元年	「肢体不自由児の体育・スポーツ」をテーマに実技・演習ならびに講義を担当した。	
大阪府レクリエーション協会課程認定校 研修会 講師		平成30年10月	大阪府のレクリエーション協会課程認定校の教員を対象とした研修会において「車椅子ハンドボール」の実技講師を担当した。	
大阪体育大学特別支援教育 教育講演会 話題提供		平成31年2月	特別支援教育に関心のある地域の方々を対象とした教育講演会において、大学からの報告「障がいのある子どもたちへのアダプテッド・スポーツの実践-体育大学の人的資源を活かして-」というテーマで話題提供を行った。	
高石市立高石小学校 校内研修会 講師		令和元年7月	高石市立高石小学校の教員を対象にボッチャの体験とボッチャを学ぶパラリンピック教育の展開についての講義を行った。	
泉佐野市立中央小学校 PTA講演会		令和元年11月	「障害者スポーツ、ボッチャを通した心のバリアフリー」をテーマに、教員へのボッチャの講習、ならびに4～6年生、保護者を対象とした講演を行った。	
出前授業(令和元年度)		令和元年9月～令和2年2月	品川区立第二延山小学校(9月)、岸和田市立八木小学校(9月)、熊取町立中央小学校(10月)、品川区立第二延山小学校(11月)、熊取町立西小学校(12月)、岸和田市立山直中学校(1月)、大阪市立井高野中学校(2月)、大阪市立佃中学校(2月)	
令和2年度特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会 講師		令和2年11月	国立特別支援教育総合研究所主催の協議会において、障害者スポーツに関する講演を行い、小グループに分かれてのグループ協議の助言者を務めた。	
出前授業(令和2年度)		令和2年11月～令和3年2月	吹田市立竹見台中学校(11月)、大阪市立横堤小学校(12月)、熊取町立西小学校(12月)、大阪市立宮原小学校(1月)、高槻市立五百住小学校(2月)、大阪狭山市立南中学校(2月)	
4 その他教育活動上特記すべき事項				
泉佐野社会福祉協議会主催「ボッチャ教室」講師		平成23年から	泉佐野社会福祉協議会主催の「ボッチャ教室」において講師として協力している	
子ども運動教室 運営		平成24年から	第六体育館で実施している「子ども運動教室」のスタッフとして子ども達の指導を行う学生へのアドバイス等を行っている。	
地域の小・中学校への出前授業		平成25年から	地域の小・中学校において「アダプテッド・スポーツ」に関する出前授業を行っている。毎年5校程度の依頼がある。	
わくわくアダプテッド・スポーツクラブ 運営		平成28年から	大学の特別プロジェクト事業の一つである特別支援学校に通う子供たちを対象とした運動教室の運営と学生スタッフへの指導を行っている。	
長期入院中の子どもへの運動指導		平成28年から	大阪母子医療センターに入院する子ども達への運動指導を月に2回程度行っている。また、学生スタッフの指導も行っている。	
大阪府中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 講師		平成29年度から	日本障がい者スポーツ協会が認定する中級障がい者スポーツ指導員資格取得のための大阪府の講習会において「発育・発達」の講座を講師として担当した。	
UDウィーク 講師		平成30年11月	静岡文化芸術大学にて行われたUD(ユニバーサルデザイン)ウィークにおいて「パラリンピックスポーツにみるUD」というテーマで講演を行った。	

平成30年度堺市障害者スポーツフォーラム シンポジスト	平成31年1月	関西大学堺キャンパスで行われた障害者スポーツフォーラム「スポーツを通じた障害者の社会参加と障害者スポーツの競技力向上を目指して」において、指導者の立場からの話題提供を行った。
玉川大学 教育学部 健康教育研究センター主催 スポーツと教育 2019-パラリンピックの楽しみ方ー シンポジスト	令和2年1月	玉川大学教育学部健康教育研究センター主催のシンポジウムに参加し、ボッチャ競技の魅力について話題提供とパネルディスカッションを行った。

## II 研究活動

### 著書（単著）

書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月

### 著書（共著・分担執筆）

題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
重度脳性麻痺を有する人々のアダプテッド・スポーツ／イラスト アダプテッド・スポーツ概論	曾根裕二 ／植木章三・曾根裕二・高戸仁郎	51頁～64頁	東京教学社	東京	平成29年4月
知的障がい者とアダプテッド・スポーツ／イラスト アダプテッド・スポーツ概論	曾根裕二 ／植木章三・曾根裕二・高戸仁郎	89頁～100頁	東京教学社	東京	平成29年4月
特別支援教育における体育の授業づくり／教員免許状更新講習テキスト2019	曾根裕二 ／浅井正仁、石川昌紀、伊原久美子、植木章三、他10名	47頁～60頁	大阪体育大学 教職支援センター	大阪	令和元年12月
アダプテッド・スポーツ／教員免許状更新講習テキスト2019	植木章三・曾根裕二 ／浅井正仁、石川昌紀、伊原久美子、他10名	109頁～122頁	大阪体育大学 教職支援センター	大阪	令和元年12月

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
下肢に障がいがある者と健康者の比較から筋・腱形態の発育発達を探る	山田一典、曾根裕二、竹内亮、金子勝司、岩岡研典	総合人間学研究	6	129頁～135頁	平成25年12月
幼児・児童に対する投能力向上を目指した短時間トレーニング指導の有効性	山田一典、金子勝司、曾根裕二、時國順	総合人間学研究	6	115頁～120頁	平成25年12月
アダプテッド・スポーツの体験が体育専攻学生の障害理解に及ぼす影響	曾根裕二	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	13	53頁～62頁	平成28年1月
地域在住高齢者における歩行時の身体動揺に関連する要因について	竹内亮、植木章三、上出直人、高戸仁郎、金子勝司、陳洋明、曾根裕二、安田友紀、萩野浩明、小川晃子、芳賀博	大阪体育大学教育学研究	2	1頁～12頁	平成30年4月
小学生を対象としたパラリンピック教育の可能性に関する検討～リバースエデュケーション効果に着目して～	曾根裕二	大阪体育大学教育学研究	4	1頁～12頁	令和2年3月

### 総説

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月

その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）

区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
実践報告	2012年度大阪体育大学健康福祉学部スポーツ福祉系活動報告～月例勉強会の開催～	共 曾根裕二、金子勝司、竹内亮、岩岡研典	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	10	79頁～84頁	平成25年3月
活動報告	体育系大学との連携協働による高齢者介護予防教室の展開 大阪府忠岡町における「お元いきいき教室」の取り組み	共 竹内亮、曾根裕二、横井光治、岩佐由美、行貞伸二	保健師ジャーナル	69(12)	1010頁～1017頁	平成25年12月
資料論文	重度肢体不自由者のスポーツ継続に関する事例的研究ーグループインタビューによる検討ー	共 曾根裕二、大村琢麻	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	11	81頁～91頁	平成26年1月
	スポーツを楽しむ、続けるためのヒント	単 曾根裕二	発達教育	33(8)	4頁～11頁	平成26年8月
活動紹介	スポーツを創造するーアダプテッド・スポーツの理解と普及を目指してー	単 曾根裕二	肢体不自由教育	217	52頁～55頁	平成26年11月
実践論文	インクルーシブな活動をめざしたダンス教室における実践研究	共 安田友紀、曾根裕二	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	13	93頁～106頁	平成28年1月
連載講座	肢体不自由のある子供たちの障害者スポーツ	単 曾根裕二	特別支援教育	62 : 50-53	93頁～107頁	平成28年6月
論説	障害のある人々にとってのスポーツの意義と現状	単 曾根裕二	肢体不自由教育	228	6頁～11頁	平成29年2月
資料論文	障害児を対象としたスポーツクラブの提案ー“わくわくアダプテッド・スポーツクラブ”の事例ー	共 曾根裕二、植木章三、金子勝司、竹内亮、安田友紀、陳洋明、後上鐵夫	大阪体育大学教育学研究	1	35頁～42頁	平成29年3月
実践報告	9期子ども運動教室の実践報告	共 金子勝司、曾根裕二、植木章三、竹内亮、安田友紀、陳洋明、後上鐵夫	大阪体育大学教育学研究	1	95頁～106頁	平成29年3月

事例報告	2016年度大阪体育大学スポーツ科学センター活動報告	共	渡邊有実、前島悦子、足立哲司、有吉晃平、石川昌紀、植木章三、岡村浩嗣、貴嶋孝太、木村彩、菅生貴之、曾根純也、曾根裕二、高本恵美、友金明香、中井俊行、藤井均、松田基子、三島隆章、梅林薫	大阪体育大学紀要	48	125頁～136頁	平成29年3月
連載	重度障がい者にとってのスポーツ	単	曾根裕二	体育の科学	67	263頁～269頁	平成29年4月
	肢体不自由児が楽しめる球技の紹介	単	曾根裕二	手足の不自由な子どもたち はげみ	376	21頁～25頁	平成29年10月
資料論文	障害児を対象としたスポーツクラブの提案（第二報）－保護者に対するアンケート調査より－	共	曾根裕二、植木章三、金子勝司、竹内亮、安田友紀、陳洋明、平沼源志、後上鐵夫	大阪体育大学教育学研究	2	37頁～45頁	平成30年4月
実践報告	大阪体育大学教育学部平成29年度野外活動実習報告	共	金子勝司、植木章三、竹内亮、曾根裕二、陳洋明	大阪体育大学教育学研究	2	73頁～87頁	平成30年4月
雑報	2017年度アダプテッド・スポーツ関連の学会参加報告	単	曾根裕二	大阪体育大学教育学研究	2	93頁～95頁	平成30年4月
雑報	第1回障がい者スポーツ関係学会合同コンgresに参加して	単	曾根裕二	アダプテッド・スポーツ科学	16	47頁～49頁	平成30年7月
資料論文	大学クラブ活動生における「一次救命処置」及び「緊急時対応計画」の学習経験に関する調査	共	有吉晃平、藤井均、川島康弘、中山健、曾根裕二、陳洋明	大阪体育大学紀要	50	103頁～111頁	平成31年3月
資料論文	肢体不自由特別支援学校の体育的行事における実施種目に関する事例的研究	共	曾根裕二、田中将	大阪体育大学教育学研究	4	91頁～96頁	令和2年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国際	平成25年7月	19th International Symposium of Adapted Physical Activity	Case report of teaching JUDO to persons with intellectual disabilities — the case of SEICHO special-needs education school in Japan —	Turkey	SONE Yuji
国内（一般演題）	平成25年12月	第17回本アダプテッド体育・スポーツ学会	重度肢体不自由者のスポーツ継続に関する事例的研究～ポッチャ愛好家へのグループインタビューから～	東北文化学園大学	曾根 裕二
国内（一般演題）	平成26年3月	第23回日本障害者スポーツ学会	知的障害者陸上競技エリート選手に対する体力測定サポート（第1報）	聖マリア学院大学	馬淵博行、河合正治、井上明浩、植木章三、梅崎多美、中澤公孝、小林裕央、桜井伸二、岩岡研典、曾根裕二、三井利仁
国内（シンポ）	平成26年9月	第52回日本特殊教育学会	身体問題に着目した幼少接続の発達支援	高知大学	曾根 裕二
国内（一般演題）	平成27年8月	第66回日本体育学会	アダプテッド・スポーツ体験が体育専攻学生の障がい理解に及ぼす影響について	国士舘大学	曾根 裕二
国内（一般演題）	平成28年9月	第71回日本体力医学会学会大会	パラリンピック選手の基本的体力の競技特性	岩手大学	小林裕央、桜井伸二、岩岡研典、植木章三、梅崎多美、曾根裕二、馬淵博行、依田珠江、佐藤敬広、荒木雅信、中澤公孝
国内（一般演題）	平成28年10月	第75回日本公衆衛生学会総会	自立および虚弱高齢者における足趾把持力の年代別比較	グランフロント大阪	高戸仁郎、植木章三、竹内亮、金子勝司、陳洋明、安田友紀、曾根裕二、上出直人、萩野浩明、小川晃子、芳賀博
国内（一般演題）	平成28年10月	第75回日本公衆衛生学会総会	スマートフォンを活用した転倒予防の取り組み～転倒予防体操の効果と普及の可能性～	グランフロント大阪	植木章三、安田友紀、竹内亮、金子勝司、陳洋明、曾根裕二、高戸仁郎、上出直人、萩野浩明、小川晃子、芳賀博
国内（シンポ）	平成29年9月	第68回日本体育学会	大阪体育大学教育学部におけるアダプテッド・スポーツの学びの系統性	静岡大学	曾根 裕二
国内（一般演題）	平成29年12月	障がい者スポーツ関係学会合同コンgres	体育系大学が主催する障がい児を対象としたスポーツクラブの試み～主に重度知的障がい児を対象として～	早稲田大学	曾根裕二、植木章三、金子勝司、竹内亮、安田友紀、陳洋明、平沼源志、後上鐵夫
国内（シンポ）	平成30年9月	日本特殊教育学会第56回大会	自主シンポジウム（指定討論） 「障害のある児童生徒にとって”望ましい”体育授業とは？」	大阪国際会議場	司会者：加藤彩乃、話題提供者：村上祐介・内田匡輔・吉岡尚美、指定討論者：曾根裕二
国内（一般演題）	平成30年11月	日本学校保健学会 第65回学術大会	大学クラブ活動生における1次救命処置に関する学習状況と「緊急時対応計画」教育の必要性	ホルトホール大分	有吉晃平、藤井均、川島康弘、曾根裕二、陳洋明

国内(一般演題)	令和元年12月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第24回大会	肢体不自由特別支援学校の体育的行事に おける実施種目に関する事例的研究	大阪体育大学	曾根裕二
研究会	令和2年12月	大阪府公立小・中学校生活指導研究協議 会 第59回 中央研究発表大会	バラスポーツ選手に学ぶスピリッツ ～ 今を乗り越える力とは～	書面開催	曾根裕二

科学研究費等の取得状況						
科学研究費／その他の助成金／外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
科学研究費	基盤研究C	重度脳性麻痺ボッチャ選手の競技力向上のためのトレーニングプログラムの開発	分担	平成28年度から31年度		
科学研究費	基盤研究C	ボッチャ選手における呼吸筋トレーニングを活用した強化プログラムの開発	分担	平成29年度から31年度		
その他の助成金	公益財団法人 公益推進協会 2018年 For Children 基金	小児がんで入院している子どもたちの体力保持に関する運動教室	代表	平成30年度	625,000円	
その他の助成金	公益財団法人 大和証券福祉財団 平成30年度（第25回）ボランティア活動助成	大阪体育大学社会貢献センター からだ動かし隊	代表	平成31年	277,000円	
特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国
<b>III 加入学会および社会における活動</b>						
期 間	内 容					
加入学会						
平成25年1月～	日本アダプテッド体育・スポーツ学会 理事、事務局長					
平成29年4月～	日本体育学会 アダプテッド・スポーツ科学専門領域 評議員					
社会的活動						
平成23年7月～	日本パラリンピック委員会 医・科学・情報サポート推進事業 サポートスタッフ					
平成24年1月～	大阪府障がい者スポーツ大会 実行委員					
平成26年4月～	堺市立健康福祉プラザ スポーツセンター運営委員					
平成26年4月～	堺市障害者スポーツ大会 運営委員					
平成26年～	ボッチャ日本代表 国際大会帯同（アジアパラゲームス、アジアオセアニア選手権、ワールドオープン、アジアユースパラゲームス）					
平成29年	全国障害者スポーツ大会 堺市選手団選考委員会委員長					
平成29年～	日本ボッチャ協会 競技局					
<b>IV 管理活動</b>						
期 間	内 容					
委員会活動						
特別プロジェクト活動						
平成28年4月～令和3年3月	特別支援学校生徒のアダプテッド・スポーツ実践の場の提供とその効果					
<b>V クラブ活動の指導業績</b>						
1. 指導クラブ名	アダプテッド・スポーツ同好会 部	2. 役職	2012年～ 部長、監督	3. 部員数	10 人	
4. 現場指導の頻度	③ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない					
5. 合宿指導	年間合宿回数：	1 回	延べ日数：	日		
6. クラブの競技力向上への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
8. 部員の就職指導への取り組み	③ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない					
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所		
	文部科学大臣杯 日本車椅子ハンドボール競技大会		11月			
	大阪車いすハンドボール大会		11月	ファイブプラザ大阪		
	ボッチャ学生選手権大会 西日本大会		12月			
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）						
開 催 期 間	大 会 名		成 績	場 所		
平成26年11月22日（土）23日（日）	文部科学大臣杯 第12回日本車椅子ハンドボール競技大会		第3位	大塚スポーツパーク アミノバリュールホール		
平成29年12月3日（日）	第一回ボッチャ大学選手権大会（西日本大会）		優勝	大阪府立大学羽曳野キャンパス		
平成30年11月10日（土）11日（日）	文部科学大臣杯 第16回日本車椅子ハンドボール競技大会		第3位	大塚スポーツパーク アミノバリュールホール		
平成30年11月18日（日）	第二回ボッチャ大学選手権西日本大会		優勝	大阪府立大学羽曳野キャンパス		

平成31年1月14日（月）	平成30年度スポーツ庁委託事業 全国横断パラスポーツ運動会 近畿ブロック	優勝	関西学院大学
令和元年11月9日（土）10日（日）	文部科学大臣杯 第17回日本車椅子ハンドボール競技大会	優勝	大塚スポーツパーク アミノバリエーホール
令和元年11月24日（日）	第三回ボッチャ大学選手権西日本大会	第3位	大阪府立大学羽曳野キャンパス

#### VI 賞罰（職務に関する賞罰）

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考